

サーキュラーエコノミーに関するアンケート調査

問1. 「サーキュラーエコノミー※」について知っていますか。

※ サークュラーエコノミー（循環経済）とは、生産から廃棄までのあらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図り、環境への取組を企業の収益につなげていく経済活動のことです。

(例)

- 食品として流通できず廃棄されていた規格外の果物野菜を原料として新たな食品を製造する。
- 不要になった服を店頭で回収して、再び衣服にして販売する。
- 不要になった衣装ケースなどのプラスチック製品を回収し、リユース品として売却したり、溶かして違う製品の原料にしたりする。
- 従来使い捨てにされていた食品などの容器を、繰り返し利用できる容器に変更し、使用後に購入者から容器を回収・再利用する。

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 言葉も意味もよく知っており、内容を人に説明できる | 2. 言葉を知っていて、意味もある程度知っている |
| 3. 言葉の意味は聞いたことがあるが、理解できていない | 4. 今回のアンケートで初めて知った |

問2. (質問 1 で「1. 言葉も意味もよく知っており、内容を人に説明できる」「2. 言葉を知っていて、意味もある程度知っている」と回答した方にお伺いします。)

「サーキュラーエコノミー」をどこで知りましたか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1. テレビ、ラジオ、新聞などメディアによる広報 | 2. 企業の取組（企業のイベントの実施や製品化） |
| 3. 企業のホームページ、SNS などのインターネット | 4. 国・自治体の広報紙やポスター、チラシ |
| 5. 国・自治体のホームページ、SNS などのインターネット | 6. 職場・仕事 |
| 7. 雑誌・書籍 | |
| 8. 家族・知人・友人 | 9. 学校 |
| 10. その他（具体的に： |) |

問3. 和歌山県におけるサーキュラーエコノミーの実現に向けた取組について知っていますか。

- ① 「わかやま資源自律経済ビジョン」の策定 (R5.10)
- ② 和歌山県におけるサーキュラーエコノミーの実現に関する包括連携協定（県・ENEOS・花王・サントリーホールディングスによる4者協定、R6.1.10 締結）

- | | | |
|--------------------|-------------|-------------|
| 1. ①も②も知っている | 2. ①のみ知っている | 3. ②のみ知っている |
| 4. 今回のアンケートで初めて知った | 5. 知らない | |

問4. 「サーキュラーエコノミー」の取組を県民へ広めていくために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. テレビ、ラジオ、新聞などメディアによる広報 | 2. 学校教育への導入 |
| 3. サーキュラーエコノミーに係る製品・サービスであることがわかる表示制度の導入 | |
| 4. 国・自治体の広報紙やポスター、チラシによる広報 | 5. 企業の取組(企業のイベントの実施や製品化) |
| 6. 国・自治体のホームページ、SNSなどのインターネットによる広報 | |
| 7. 企業のホームページ、SNSなどのインターネットによる広報 | 8. わからない |
| 9. その他(具体的に: |) |

問5. 「サーキュラーエコノミー」の考え方を取り入れていない企業やブランドと比較して、「サーキュラーエコノミー」の考え方を取り入れている企業やブランドにどのような印象を持ちますか。

- | | | | |
|------------|-------------|---------------|---------------|
| 1. 好印象である | 2. やや好印象である | 3. 特に印象は変わらない | 4. あまり好印象ではない |
| 5. 好印象ではない | 6. わからない | | |

問6. 家庭から出た使用済みてんぷら油(以下、廃食油)をリサイクルすることで、航空機の燃料にすることができることを知っていますか。

- | | | |
|--------------|--------------------|---------|
| 1. 以前から知っていた | 2. 今回のアンケートで初めて知った | 3. 知らない |
|--------------|--------------------|---------|

問7. ENEOS 和歌山製油所跡(有田市)で、廃食油を航空機の燃料にリサイクルする拠点となる計画があることを知っていますか。

- | | | |
|--------------|--------------------|---------|
| 1. 以前から知っていた | 2. 今回のアンケートで初めて知った | 3. 知らない |
|--------------|--------------------|---------|

問8. 和歌山県ではR6年度に、家庭用の廃食油回収実証事業※を実施予定です。この取組についてどう思いますか。

※県では、サーキュラーエコノミーの実現に向けた取組の第一弾として、現在のごみとなっている家庭用の廃食油を回収し、SAFの原材料へと資源化する仕組みの構築を目指します。

- ◆ 実施エリア: 和歌山市、海南市、有田市(回収拠点が当該エリア内というだけで、持参者の居住要件ではない)
- ◆ 回収方法: 繰り返し洗浄して使用できるリターナブルボトルを配布しますので、そのボトルに廃食油を入れて、スーパーや公共施設に設置された回収拠点に持参いただくことを想定しています。

- | | | |
|-----------------|--------------|-------------------|
| 1. とても重要な取組だと思う | 2. 重要な取組だと思う | 3. あまり重要な取組だと思わない |
| 4. 重要な取組だと思わない | 5. どちらとも言えない | |

問9. (質問7で「3. あまり重要な取組だと思わない」「4. 重要な取組だと思わない」と回答した方にお伺いします。) 重要だと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべて)

1. サーキュラーエコノミーの内容が良く分からないから	2. 取り組まなくても困ることがないと思うから
3. 自分が何をすれば良いか、何ができるのか分からないから	4. 自分の生活には関係ないと思うから
5. その他 (具体的に: _____)	

問10. 現在、廃食油はどのように廃棄・リサイクルしていますか。最も頻度の高いものを1つ選択してください。

1. 紙や布にしみこませて、一般ごみ・可燃ごみとして捨てている
2. 市販の凝固剤などで固めてから、一般ごみ・可燃ごみとして捨てている
3. 家で大量の油が出るような料理をしない
4. その他 (具体的に: _____)

問11. てんぷらなどの油を使う料理をする頻度はどの程度ですか。

1. 週に1回以上	2. 月に2・3回程度	3. 年に2・3回程度	4. ほとんど行わない
5. その他 (具体的に: _____)			

問12. リサイクルを行うにあたって、以下のような内容が動機づけになるか教えてください。(あてはまる選択肢に丸をつけてください)

	←動機づけになる.....動機づけにならない→				
ゴミの量が減る	1	2	3	4	5
環境の保全・保護に繋がる	1	2	3	4	5
途上国等の社会課題(貧困問題等)の解決に貢献できる	1	2	3	4	5
地元企業や地域の振興に繋がる	1	2	3	4	5
個人に対して金銭的なメリット(ポイント付与等)がある	1	2	3	4	5

問13. 県が行うサーキュラーエコノミーや資源循環社会づくりの推進について、ご意見、ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

自由記載:
